

あなたの治療は“経験”や“勘”に依存していないか？

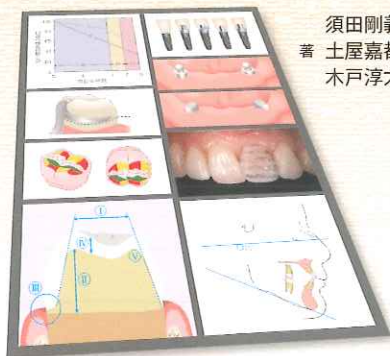
補綴・咬合の 迷信と真実

EBDを採り入れた治療のアート&サイエンス

あなたの治療は“経験”や“勘”に依存していないか？

補綴・咬合の 迷信と真実

EBDを採り入れた治療のアート&サイエンス



著 須田剛義
土屋嘉都彦
木戸淳太

全37編の解説・レビュー

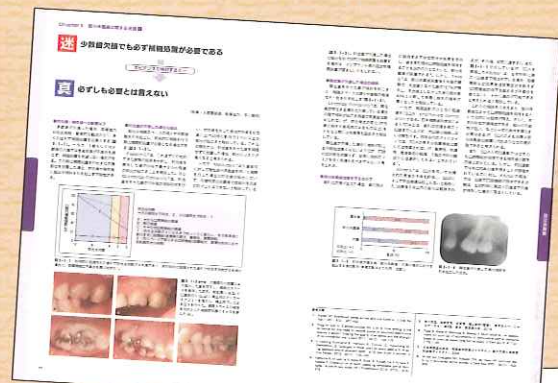
補綴修復の迷信 12編 総義歯の迷信 4編

部分床義歯の迷信 5編 インプラントオーバーデンチャー・インプラント補綴装置の迷信 7編

咬合・口腔外検査の迷信 9編

QUINTESSENCE PUBLISHING
クインテッセンス出版株式会社

著 須田剛義
土屋嘉都彦
木戸淳太



豊富な図表！



わかりやすい
解説！

大好評『迷信と真実』本の
シリーズ第5弾！

とかく経験や勘に頼りがちだといわれる補綴・咬合治療に対し、EBD (evidence-based dentistry) に造詣の深い3名の著者が、確かな文献を提示して37の迷信を正す。補綴修復・義歯・インプラント補綴装置・咬合の各分野にわたる真実を知り、臨床の指針となる一冊。

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判 ●140ページ ●定価 本体7,500円(税別)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



37編の解説・レビューで根拠ある補綴・咬合治療をサポート!

CONTENTS

Chapter 1

補綴修復に関する迷信

- 迷信：ファイバーポストを使用すればフェルールは必要ない
- ▶ 真実：多くの研究が材料の種類よりもフェルールの量のほうが効果的だと示している
- 迷信：根管治療後は歯が脆くなる
- ▶ 真実：根管治療後すぐに脆くなるということはない
- 迷信：デジタル印象はまだ固定式のクラウン・ブリッジでは実用段階ではない
- ▶ 真実：単冠または少数歯ブリッジまでの印象精度は、従来法と同程度かそれ以上である

ほか 合計12編

Chapter 2

総義歯に関する迷信

- 迷信：アルジネート印象材(簡易法)よりシリコーン印象材(従来法)を使用して製作した総義歯のほうがすぐれている
- ▶ 真実：機能的・審美的な患者満足度に有意差はないが、従来法を熟知する必要がある
- 迷信：総義歯では主に機能の観点から、「従来型の両側性平衡咬合」を付与すべきである
- ▶ 真実：患者の身体的・精神的状態によっては、「従来型の両側性平衡咬合」が必ずしも有利とは言えない
- 迷信：金属床義歯はレジン床義歯よりすぐれている
- ▶ 真実：強度は高いが必ずしもレジン床義歯よりすぐれているとは言えない

ほか 合計4編

Chapter 3

部分床義歯に関する迷信

- 迷信：少数歯欠損でも必ず補綴処置が必要である
- ▶ 真実：必ずしも必要とは言えない
- 迷信：遊離端欠損において的印象採得にはオルタードキャスト法が必須である
- ▶ 真実：遊離端義歯にオルタードキャスト法を用いても個人トレー印象を用いても差はない可能性がある
- 迷信：エーカークラスプの支持はレストが担っている
- ▶ 真実：レストのみが担っているのではなく、他の構成要素と補い合っていると考えられる

ほか 合計5編

Chapter 4

インプラントオーバーデンチャー・インプラント補綴装置に関する迷信

- 迷信：インプラント上部構造はセメント固定よりスクリュー固定で連結を行うほうがいい
- ▶ 真実：それぞれの方法に利点・欠点があり、異なるパターンの合併症が生じる
- 迷信：無歯顎の治療で患者満足度が高いのは、インプラントによる固定式補綴装置である
- ▶ 真実：固定式が必ず良いとはいえず、IODのほうが高い場合もある
- 迷信：IODのアタッチメントはロケーターが第一選択である
- ▶ 真実：ロケーターは使い勝手が良いが、位置や角度の条件によって連結型のパーティップなども第一選択となりうる

ほか 合計7編

Chapter 5

咬合・口腔外検査に関する迷信

- 迷信：歯牙形態や排列の調和・不調和に対する感覚は、歯科医師と患者で共有されている
- ▶ 真実：患者は歯科医師と異なる感覚をもっている
- 迷信：補綴スペースを確保するためには咬合高径を上げればよい
- ▶ 真実：まず咬合高径が適切かどうかを評価し、状況に応じて適切なアプローチを選択する
- 迷信：中心位はゴシックアーチで採得するのがもっとも精確である
- ▶ 真実：バイラテラルマニピュレーションやアンテリアジグを用いた下顎誘導法が推奨されている

ほか 合計9編

COLUMN

支台歯の高さがいない場合の補綴方法の臨床例
総義歯製作に必要な解剖学的ランドマーク
インプラント上部構造の工夫
顔面の調和を考慮した補綴治療
補綴スペースの不足を解消した症例

ほか 合計11編

きりとり線

注文書

補綴・咬合の迷信と真実
EBDを探り入れた治療のアート & サイエンス
モリタ商品コード:208040699

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。